

地域計画

策定年月日	令和6年3月25日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	豊岡市 (28209)
地域名 (地域内農業集落名)	山本区・森区 (山本、森)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	9.15 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	4.14 ha
② 田の面積	8.74 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.41 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.58 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1.58 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	0.35 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.35 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

山本集落は、昭和54年から昭和57年にかけて金剛寺土地改良区により団体営ほ場整備事業(15.8ha:その内山本区約5.4ha)、標準区画20a~25aの整備を行っている。しかし、中山間の谷筋地域であるため不整形田が多い。灌漑は、自然取水方式であり、取水口や用水路の管理、農道補修や排水路の泥上げ、畦畔や道路水路の草刈り等の維持管理や獣害対策に多大な労力を要している。森集落は、旧来の耕地整理のままで、ほ場整備事業を行っていない。

当該地域の農用地は、約9.2ha(うち水稲栽培は約8.7ha)である。中心的担い手の認定農業者1名・1法人で耕作面積は約3.3ha、集積率は約36.5%で、営農組合1法人(非法人)と1.0ha以上の水稲栽培農家1名で、耕作面積は約3.0ha、耕作率は約33.0%である。その他は、小規模の経営体9名で維持されている。他に果樹(ブドウ)栽培は、1名で約0.26haを耕作している。

75歳以上の高齢者耕作者は1名で(稲作・果樹ブドウ、栽培面積0.35ha)、70歳以上75歳未満の耕作者が4名あり、70歳未満でも今後5~10年先にはリタイアを考えている耕作者も多く、担い手への受け渡しが課題となっている。

当該地域のうち山本集落は、多面的機能支払交付金事業に積極的に取り組んでいるため、今のところ荒廃農地の発生は見られないが、高齢化と近年の地域力の低下に伴い維持管理の負担が増えつつある。森集落については、国・県の補助事業に取り組んでいないため、課題は一層深刻である。

離農の増加に伴い中心的な担い手のみで、これら農業環境の維持は難しく、未整備地はもちろんのこと、集落で活用すべき農地であっても遊休化が懸念されるところである。このため持続可能な集落の農地保全に向けて、担い手が共通し、隣接した山本・森の両集落で共同して協議を進める。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

山本・森集落の農地利用は、減農薬や有機農業の導入による水稲栽培と、果樹(ぶどう)で、主に認定農業者1名・1法人と営農組合1法人、その他経営体10名が担っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

地域の農地を将来にわたり活用・保全できるよう、集落全体で農地の有効活用を図るため、「いきいき農地バンク方式」の新たな取り組みを図る。(貸付予定農地面積 8.3ha)

(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	36.5 %	将来の目標とする集積率	53.9 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積の団地数及び面積は、3団地、平均2.1ha(令和5年度時点) 団地面積の拡大を進める。3団地、平均2.2ha(令和15年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
地域の農地を将来にわたり活用・保全できるよう、集落全体で農地の有効活用を図るため、「いきいき農地バンク方式」の新たな取り組みを図る。(貸付予定農地面積 8.3ha)
(2)農地中間管理機構の活用方法
将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、農地を機構に貸し付けていくことに協力していく。 中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体等への貸付けを進めていく。
(3)基盤整備事業への取組
既に取り組むべき農地は、基盤整備事業を完了しているため、取り組む予定はない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、豊岡市及びJAと連携し相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
現在のところ未定

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

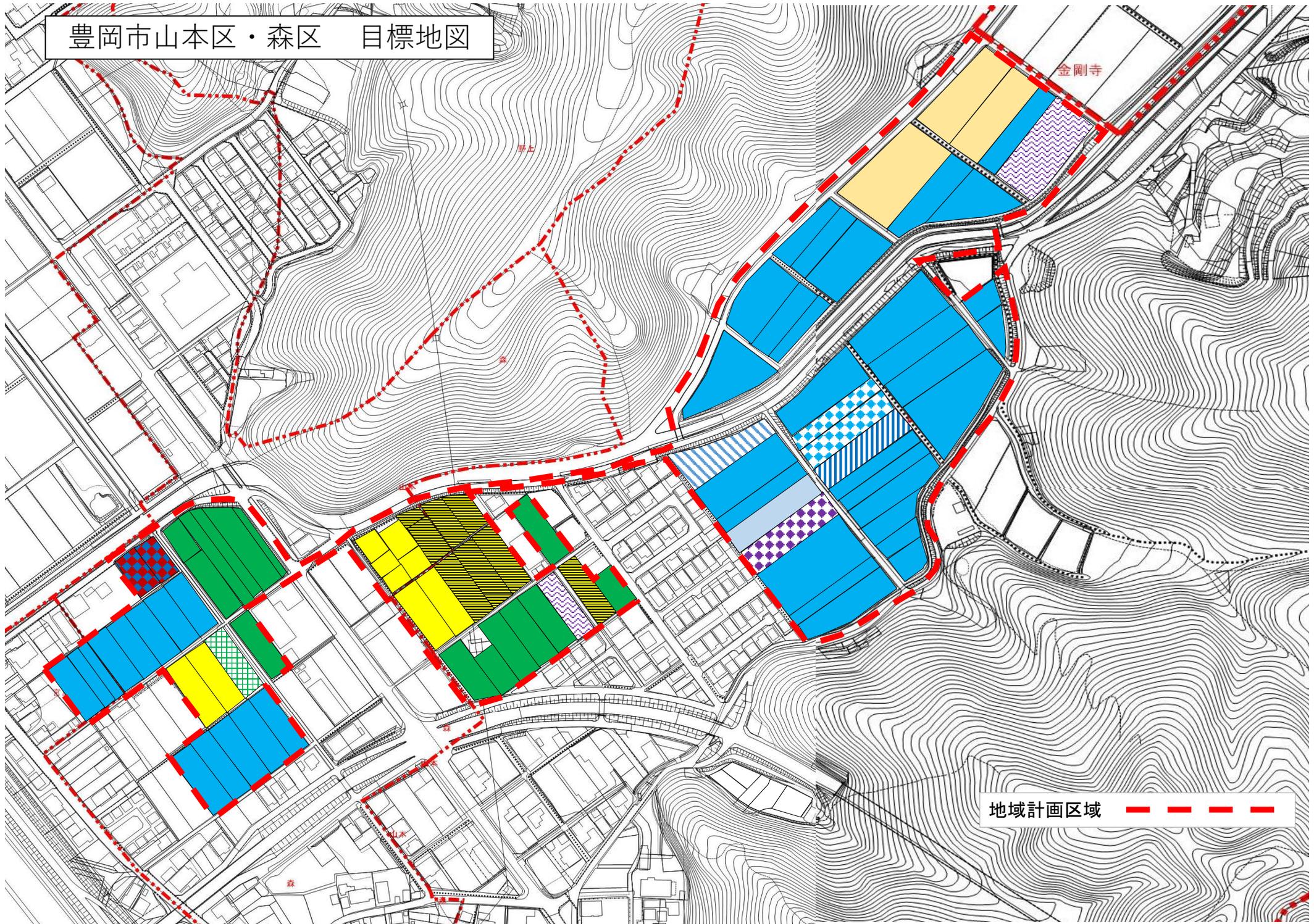
【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害防止対策の取組方針
鹿・猪等鳥獣害対策として金網柵等の維持・充実と、集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等)をつくり、捕獲体制の構築等に取り組む。
- ②有機・減農薬・減肥料の取組方針
人と環境にやさしく高付加価値が期待される、「コウノトリ育む農法」などの有機・減農薬・減肥料の農業に取り組み、安全・安心で高収益につながる農作物を栽培することで、耕作者のモチベーションを高め、豊かな文化・地域・環境づくりを進める。
- ⑦保全・管理等の取組方針
多面的機能支払交付金事業の継続による適正な農用地の維持管理を図る。
- ⑧農業用施設の取組方針
老朽化した農業用排水路の不同沈下の改修と素掘りの水路のU字溝への転換を図り、農作業の労力の低減を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	1	水稻	3.22 ha	ha	水稻	4.81 ha	ha		
利用者	2	水稻	2.33 ha	ha	水稻	1.13 ha	ha		
利用者	3	水稻	0.59 ha	ha	水稻	0.59 ha	ha		
利用者	4	水稻	0.55 ha	ha	水稻	0.55 ha	ha		
利用者	5	水稻・果樹	0.35 ha	ha	水稻・果樹	0.35 ha	ha		
利用者	6	水稻	0.22 ha	ha	水稻	0.22 ha	ha		
利用者	7	水稻	0.16 ha	ha	水稻	0.16 ha	ha		
利用者	8	水稻	0.16 ha	ha	水稻	0.16 ha	ha		
利用者	9	水稻	0.14 ha	ha	水稻	0.14 ha	ha		
利用者	10	水稻	0.14 ha	ha	水稻	0.14 ha	ha		
利用者	11	水稻	0.48 ha	ha	水稻	0.10 ha	ha		
利用者	12	水稻	0.69 ha	ha	水稻	0.69 ha	ha		
認農	13	水稻	0.12 ha	ha	水稻	0.12 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	13経営体		9.15 ha	0.0 ha		9.15 ha	0.0 ha		

豊岡市山本区・森区 目標地図



地域計画区域 